

第10回 協力会社改善事例発表会

鉄骨建方時のボルト運搬の改善

広島支店真栄会 躯体部会

株式会社島田鉄工所

【テーマ背景】

厚生労働省による平成30年の労働災害発生状況を公表が発表され、

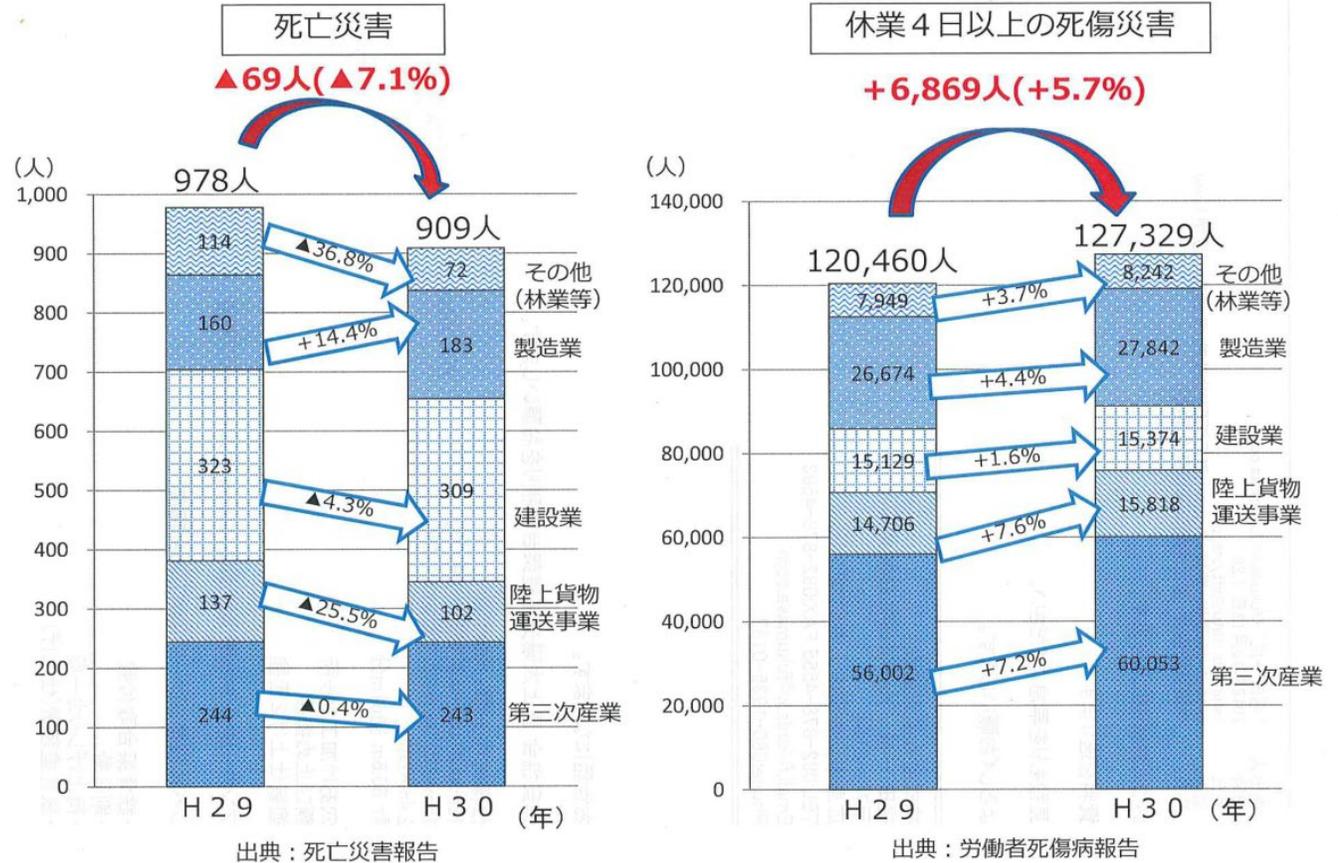
死亡者数は909人（対前年比7.1%減）であり、過去最少となった一方、休業4日以上の死傷者数は127,329人（対前年比5.7%増）と3年連続で増加となりました。

- 建設業では、死亡災害のうち、「墜落・転落」によるものが依然として多かった。
- 死亡災害は309人で、前年比4.3%減
- しかし、休業4日以上死傷災害は15,374人で、前年比1.6%増となっている。

(出典：厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課)

平成30年 労働災害発生状況 (確定値)

※ 平成30年1月1日から12月31日までに発生した労働災害について、4月8日までに報告があったものを集計したもの



- 死亡災害の発生状況は高所からの「墜落・転落」が最も多く、死傷災害においては、つまづきなどによる「転倒」が最も多いが、次いで「墜落・転落」が多い。

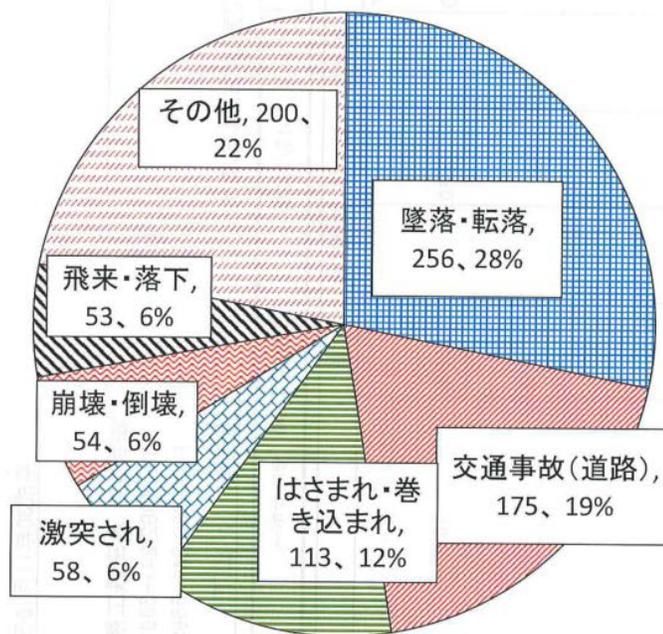


- よってこのような災害を未然に防止するにはどうしたらよいか。

平成30年事故の型別労働災害発生状況（確定値）

死亡災害

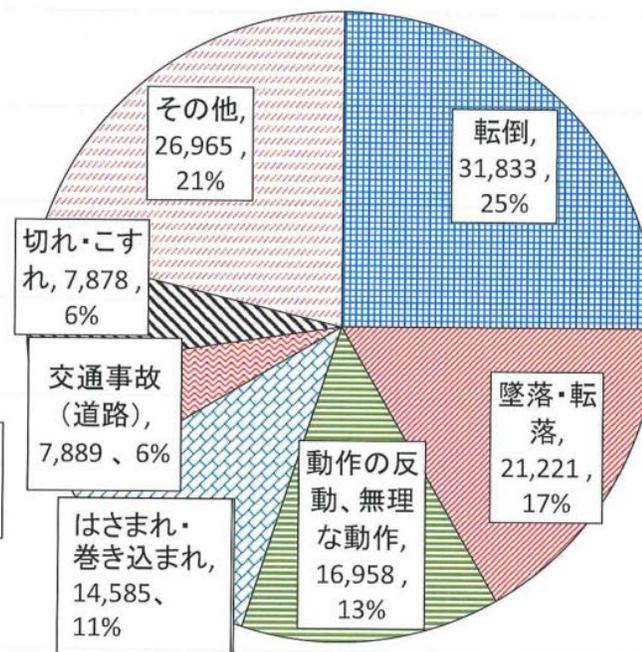
909人、前年同期比▲7.1%



出典：死亡災害報告

休業4日以上死傷災害

127,329人、前年同期比+5.7%



出典：労働者死傷病報告

【工事概要】

- 工事概要：倉庫 S造 地上3階建て
延床面積 3,246.01m²
最高高さ 17.49m
- 弊社担当工事：鉄骨工事（約291t）

【動機・ねらい】

鉄骨建方時のボルト入れの際、各所へボルトバックにボルトを入れ、人力にてボルトを運搬していたが、**不安定な梁上を重量物であるボルトを担ぎ**、安全帯を掛け替えながら移動しなければならなかった。

【改善前】



不安定で危険な作業であることから、そこで、より安全に、効率よく移動できる方法はないか、考え改善することとした。



落下防止装置を製作し、ボルトバックへ装着、梁の上に乗せ一緒に吊り上げることとした。

落下防止装置 製作



【改善後】



ボルトバック
を吊り上げる



【効果】

- 不安定な梁上を重量物であるボルトバックを持って移動することがなくなり作業の安全性が向上した。
- ボルトを各所へ配る作業が軽減され作業効率が上がった。